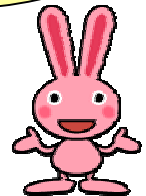


臨床工学科

こんにちは、臨床工学科です。
今回は血漿交換療法のひとつである LDL 吸着療法 (LDL アフェレーシス) についてご紹介したいと思います。



LDL って何？

low density lipoprotein の略で、日本語では『低密度リポタンパク』と呼ばれるものです。このリポタンパク質は、血中のコレステロールがアポリポタンパク質と結合したもので、いわゆる悪玉コレステロールのことです。



LDL 吸着療法 (LDL アフェレーシス) ってどんな治療法？

体から血液を取り出し、吸着器で悪玉コレステロール (LDL コレステロール) を取り除きます。きれいになった血液はすべて体に戻されます。これらの工程はすべて機械により自動で行われ、治療が進みます。



どのような病気に対してこの治療が行われるの？

主に次の4つの病気に対して治療が行われます。ただし、これらの病気と診断されるとすぐに LDL 吸着療法が行われる訳ではありません。お薬や注射などで十分な治療効果が認められない人が対象となります。

- * 家族性高コレステロール血症 (FH)
- * 閉塞性動脈硬化症 (ASO)
- * 巣状系球体硬化症 (FGS)
- * 全身性エリテマトーデス (SLE)





どんなふうに治療するの？

1 入室

ベッドに横になり、血圧測定や体調をお聞きします。

2 穿刺

透析療法を受けている方

いつものように体から血液を取り出す針と血液を返す針の2本を刺します。

透析療法を受けていない方

事前にブラッドアクセスカテーテルという、血液を取り出す管と体内に血液を返す管が一体となったものを足の付け根の血管か鎖骨の近くの血管に挿入し、そこから血液を出し入れします。



図：ブラッドアクセスカテーテル

3 治療中

治療中、痛みを伴う行為をすることはありません。また、治療は機械で自動的に行われますので、テレビを見たりラジオを聞いたりしてリラックスしてお過ごしください。

4 返血

体の外に出ている血液を体に戻し、針を刺している方は針を抜いて止血を、ブラッドアクセスカテーテルを挿入している方は管内が固まらない様に処置をします。



この治療をするとどんな効果があるの？

血液内の悪玉コレステロールが取り除かれることにより、血流が良くなり、また血管が広がりやすくなるので、酸素や栄養分が体のすみずみまで行き渡るようになります。



悪玉コレステロールが溜まると動脈硬化を促進させます。さらに心筋梗塞や脳卒中などを引き起こす危険性が高まります。食生活の改善と軽い運動で悪玉コレステロールを減らしましょう！